

令和5年度 第1回加西市総合教育会議 会議録

1 開会日時 令和5年8月21日（月） 15時30分

2 閉会日時 同 日 16時30分

3 開催場所 加西市役所 1階多目的ホール

4 出席委員

市長	高 橋 晴 彦
教育長	菅 野 恭 介
教育長職務代理者	沼 澤 郁 美
委 員	楠 田 初 美
委 員	中 川 和 之
委 員	深 田 英 世

5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

ふるさと創造部長	藤 後 靖
ふるさと創造部 人口増政策課長	小 菊 啓 靖
ふるさと創造部 人口増政策課係長	岩 野 裕 之
教育委員会事務局 教育部長	千 石 剛
市参事（新中学校建設担当）兼教育委員会 教育総務課長	伊 藤 勝
教育委員会事務局 学校教育課長	小 坂 卓 司
教育委員会事務局 総合教育センター所長	工 藤 憲 人

6 傍聴者 一般：8名、報道機関：0名

7 協議事項

（1）小・中学校の再編について

（2）今後の学校のあり方について

8 会議内容

別紙のとおり

会議録

次第

1 市長挨拶

2 教育長挨拶

3 協議事項

(1) 小・中学校の再編について

〔意見・質疑〕

市長 今回の市長選を通じて、再検討するという提案をさせていただいた。教育委員の皆様には色々ご協議頂いた結果であったと思うが、こども園が集合し、小学校で別々になって、また中学校で集合するといったことに対して、非常に多くの方々から疑問の声を聞いたため、もう一度検討させていただきたい。

また、前市長も前教育長も最初から小学校は統合しないという前提で議論が進んでいたように感じ、方針がどこで決まったのかという声も非常に多かったということも踏まえ、再度ご意見を聞かないといけないという判断をした。ただ、いくら聞いても結論が出ないし、全員が賛成ということはないが、もう一度ゆっくりご意見を聞く方が近隣市の状況をみてもスケジュールが1年遅れにはなるが良いのではないかと思います。

小学校関係についても、トップが方針を決めたら誰も反対できないため、協議も必要ではなかったのかという判断で、今意見を聞いていただいている。できるだけ多くの方に意見を聞いていただくということで、タイトなスケジュールではあるが、最終的には地域の声も踏まえてさせていただく。理想は全員が集まっていたら良いが、なかなかそういうわけにいかないため、タウンミーティングでも状況を地域に説明しているところである。できるだけ早く進めさせていただきたいと思っている。

委員 今回、タウンミーティングにて話をさせていただいたが、うちの村ではあまり参加者が集まらず、今年度の新しい役員が話を聞いて、初めて理解したという声を聞いた。我々も昨年、学校あり方検討委員会等に関わりながら色々説明を行ったが、まだ足りなかったのかなという思いがある。市長が選挙戦の中でもっと声を聞かないといけないという風に思われ、今回、答申があるが、その上できちっと説明し、もっと意見を聞くということをお聞きし、賛成する。本当に大事な問題であるので、より多くのご意見を聞いていただきたい。保護者の中には中学校統合の話が出た時に、自分の子どもの学年を計算しながら、いつになるのだろう、制服はどうなるのだろうなど、そこまで具体的な話もあったことは事実だが、十分な意見聴取と説明が必要と思う。

市長 答申いただいた内容を全く白紙にするという気はない。協議で色々議論していただいた結果であると思うので、それを活かしながら、説明会で説明していただいて、意見聴取

するという形を考えているので、ご理解いただきたい。

委員 前はまず教育委員会で作成した方針をベースに説明会を行い、素案に対するアンケートを実施し、その後に学校あり方検討委員会での協議、ワークショップという順番だったと思うが、保護者からはアンケートを踏まえたとしても、教育委員会の方針で進むのではというご意見を聞いた。今回、市長が代わって保護者向けの説明会を行うが、これがあればもう少し保護者の意見を聞けていたのかなと思う。それからアンケートを取って、方針を決めていく方がより意見が集約されるのではと思う。

全体スケジュールについて、市長が代わり、学校の再編問題がどうなるか保護者が気になっていると思うので、少しでも早く進めるとともに、保護者からのご意見を聞いた後でのタウンミーティングとなっているので進め方は良いのかなと思う。

市長 今回、保護者説明会が北条地区の市民会館ばかりで不満の声があった。本来は各学校の体育館ぐらいがいいのだが、空調の関係があるため仕方がなかった。

本来、タウンミーティングは予算を目処に実施するため、もう少し早く実施するのだが、学校再編のスケジュールに合わせた。次のタウンミーティングでは、学校再編の関係も説明させていただくと同時に、市広報を活用して途中経過を報告いただけると聞いている。

教育長 保護者説明会にて保護者の方々にご説明するが、全員は現実的に難しいため、市広報に教育委員会のコーナーを作っていただくことになった。毎月、例えば今回であれば、保護者説明会の情報やアンケートが出たらアンケート結果等、随時の状況をできる限り共有し、合意形成を図っていきたいと考えている。

委員 今、市長から答申をゼロにするというのではなく、答申を踏まえて様々なご意見を聞きながら、子どもたちのために1番いい方向について話し合いをしていくという方針を聞かせていただいた。去年は約1年間にかけて、学校あり方検討委員会では計17名の方が視察も入れて10回という回数・時間をかけて討論をしていただき、また、教職員は学校あり方の学習会を4回実施した。それらの内容も踏まえて、再度、住民の方々の意見を集約し、子どもたちのことを一番に考えてより良い形にという方向で行っていただければと思う。

また、今回12月までのスケジュールが組まれているが、10月中旬にアンケートをされる。前回のアンケートは抜粋した人数であったが今回は全員に行うということで、公平性のあるものでされることを聞かせていただいた。また、前回のアンケートでは、まずアンケートのお願いの文章があって、その次に今の学校がどのように人数が推移していくのかということと、大規模校と小規模校の特徴やメリット・デメリットをまとめた資料があり、最後にあまり多くなると大変であるということで、簡易な質問が設けられていた。今、分かっている範囲でいいのだが、方向性が定まっていたら教えていただきたい。

教育長 基本的には、前回と同じような形で、まず、加西市で育てたい人間と学校、それから、なぜ学校再編が必要になるのかを伝えていきたい。先ほどおっしゃったように、大き

い学校、小さい学校、それぞれメリット・デメリットがあるので、そういう風なことを伝えていきたい。さらに、1 つ付け加えているのは、I C Tがとても発達して、例えばオンラインの授業によって対面授業を代替できるのではという意見が一時あったが、実際、学校を見ていただいたら分かると思うが、なかなか難しいのが現状で、やはり子どもたちの成長ということを考えると、直接子どもたちが会って話をする、先生とも直接会うことと同じように代替することはできない。そのため、緊急的な手段としては活用できるが、教育効果を考えた際に代替できないというのも、新しい視点として付け加える。そういうことを踏まえて、保護者の方々に学校規模が小さくなることに対して、どう考えるかということをお伺いしたい。

委員 ありがとうございます。保護者説明会も細かく11日に分けてくださるので、数多くのご意見等が出て、より良いものになるようお願いする。

委員 今まで長期にわたって、学校あり方検討委員会での協議を行いながら多くの方々によって色々と意見を交わしてきたので、本当に良いことだったと思っていたが、細かい話し合いや意見交換の大事さが今回のことでも良く分かった。しかし、タウンミーティングは、各町の役員しか参加しない傾向があるので、今回の説明会でも11日間あるが、どれだけの方々が来られるのかが少し心配である。もし、参加人数が少なかったらどうするのか。

市長 ターミーティングは9月の代表区長会でできるだけ多くの方々を集めていただくよう区長にお願いしようと思っている。通例の予算要望的なタウンミーティングだけではなく、今度は学校のこともあり、地域全体のことであるので、色々意見を求めるしかない。その他、市広報で随時情報が提供される。今までは、どこで決定したか分からないというような状況だったので、市広報で状況報告させていただき、関心を持っていただく。1番困るのは今まで関心が無かったような感じであったのが、具体策が出ると反発意見が出てきて協議が戻る、それを避けたいというのが第1の目標である。いくら周知しても、伝えきることは難しく、それはもう仕方がない。たくさん集めていただきたい。

また、保護者の方々の意見をどこまで反映できるかは分からないため難しい課題であるが、できるだけ早めに進めたい。学校を1つ建てると言っても、用地選定から始めるとなると農地転用等があれば、3年以上先になるため、あまり遅れないよう、できる限りスケジュールを圧縮するような形にする。学校問題は非常に大きな課題であり、一旦進めると取り返しがつかないため、慎重にしてもいいと思う。そのような中、市広報で状況報告するというのは良い提案であると思っている。

委員 中学校については再編していかなくてはならないと思うが、小学校については地域の方々が大事にしている部分なので、丁寧に考えながら市内全体で盛り上げていってもらえたらと思う。

市長 タウンミーティングにて、地域の方々より「なぜ統合しないのか」といった声も寄せられているので、総合的に判断させていただく。

委員 保護者の年齢層と、その一世代上の年齢層で意見が食い違うという場合も結構ある。

そのため、今回のアンケートでも可能であれば家庭内でよく相談して答えてもらうというのも1つの方法であり、また、市広報で報告する際には、ご意見があったら寄せていただく旨を記載して、全ての年齢層からご意見が集まったら1番良いと思う。可能な限り早期から様々な方のご意見を聴取するというをお願いしたい。

教育長 とにかくご意見は丁寧に聴取したいと思う。あと、子どもに関することなので、やはり保護者の方々のご意見というのは重く受け止める必要があると思っている。先ほど市長から発言があったが、タウンミーティングでも、「私たちより上の世代の方々から学校はいわゆる地域の核であることは良く分かっており、自分もその学校を卒業したから、もし無くなると非常に辛い、もし再編した方が教育効果も含めて子どもたちのためになるのであれば検討してほしい」といったご意見もいただいている。

(2) 今後の学校のあり方について

〔意見・質疑〕

市長 具体的な数字はまだ公表されておらず、また、単純に上回れば良いという話ではないが、平均を全てが下回るというような状況であり、原因を分析していただいている。

教育長 このような結果になったことは、非常に危機感を持たなければいけないと思っている。加西市の教員が他の市の教員に比べて努力が足りないということではない。実際の問題を見てみると、今までとは傾向が違うため、学校において日頃の授業の中でのポイントを見極め、検討していただく必要がある。そのことについては、現在、各学校の職員会議にてお時間を頂いて教職員へ直接お話ししている。

市長 教職員には研究をする余裕を持っていただくということが、非常に重要であると認識しており、アシスタント的な人員を充実させ、きめ細かな対応できるような形をとりたい。その他、学校のあり方ということで、ターミーティングで様々な意見を聞いたため、その内容について報告させていただき、教育委員の皆様と共有させていただきたい。

1つ目は、通学バスについて。加西市は広いため、非常に難しいが検討をしてほしいという要望がある。遠距離の問題や夏の異常な暑さ対策、不審者対策という点も踏まえて検討する。

次に学校のプールについて。夏休みのプール利用が中止されているなど、殆ど利用されていないため、修繕にかかる費用も考慮し、本当に必要であるか検討していただきたい。

また、生涯学習について、公民館をもっと活用すべきという声も聞いた。若者がなかなか利用しないという問題があるが、活用できるような施設にできればと思っており、高齢者を含め、もっと多くの方々にご利用いただけるよう、一緒に考えていただければと思っている。

教育長 学校もプールの管理等を考えると、スイミングスクールへ行くということに関しては、賛成される方もあるが、授業が無くなることについては反対される方もあるのでニーズも含めて検討しないといけないと思っている。

それから、タウンミーティングで意見があったのがPTAの経費についてで、本来、市が行うべき学校設備の維持管理にも使用されているケースがあると聞いているため、各PTAの資料を取り寄せて、現状をまず確認する。また、実際に学校にはどれぐらいの費用が必要かということを確認し、学校が使いやすいようにしていきたい。

委員 学校プールについて、維持管理がとても大変だと思うが、子どもたちは夏場のプールをととても楽しんでいる実態があると思う。もし、スイミングスクールへ行くこととなると、往復の移動時間やそこで習う時間を考えれば、体育の授業時間が2分の1になってしまうのではと懸念するため、学校側とよく相談してほしい。

委員 学校教育に目が行きがちであるが、生涯学習の方が期間が長い。予算的に厳しいかも分からないが、公民館活動を行うにあたって、高齢者が使いやすい、障害者が使いやすいような施設の充実ということで、公民館の2階へ車イスで上がれるよう、エレベーターの設置を検討してほしい。

もう一方では、公民館が地域の核になっていけるよう、若い人にも来てもらえるようになり方を検討していきたい。

4 その他